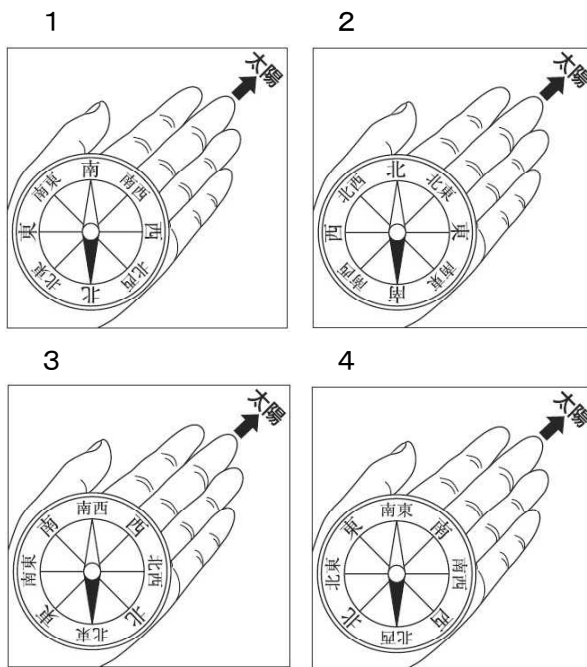


「平成24年度
全国学力・学習
状況調査」結果
公表

本年4月に行われた「平成24年度全国学力・学習状況調査」の結果が、文部科学省から公表されました。今回は、この調査結果の中から、今回初めて実施された小学校理科の問題を1問紹介しましょう。

【問題】(1) 午後1時の太陽の方位を、正しく調べているのはどれですか。下の1から4までの中から1つ選んで、その番号を書きましょう。また、その時の太陽の方位を書きましょう。

観察や実験を通して身に付ける
技能



	正答率
山口県	24.5%
全国平均	27.3%

正答は、「1 南西」ですが、この問題の正答率は上記のとおりです。

まずは、方位磁針(コンパス)の使い方として「1」を選ばなくてはなりません。残念ながら「1」を選ぶことができた児童は、本県では32.3%にとどまっています。

知識を身に付ける
だけではなく…

【問題】(2) (1)で使った方位を調べる道具の名前を書きましょう。

次の問題では、(1)で使った道具の名前を答える知識を問う問題です。正答は、「方位磁針(方位磁石、コンパスなども可)」ですが、相当数の児童ができており、本県の児童の正答率は全国平均を上回っています。

	正答率
山口県	91.3%
全国平均	89.8%

子どもたちに求
められている学力



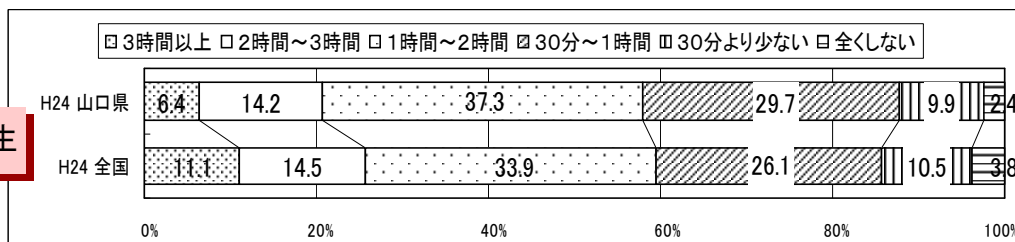
今回、紹介した問題のように、子どもたちに求められている「学力」では、基礎的・基本的な知識を身に付けるのはもちろんのこと、観察や実験などを通して身に付けた技能、さらには、身に付けた知識や技能を実生活の場面などに活用する力なども重視されています。



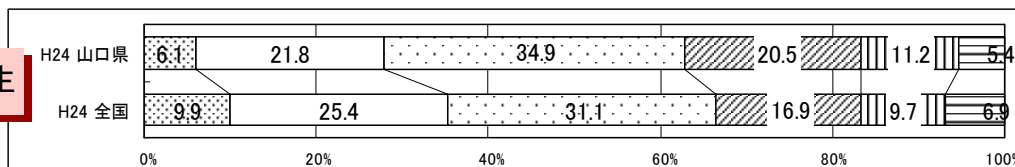
質問紙調査の結果から

下のグラフは、「学校の授業時間以外に、普段(月～金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」という質問の県の回答状況と全国の回答状況を比較したものです。

小学校6年生



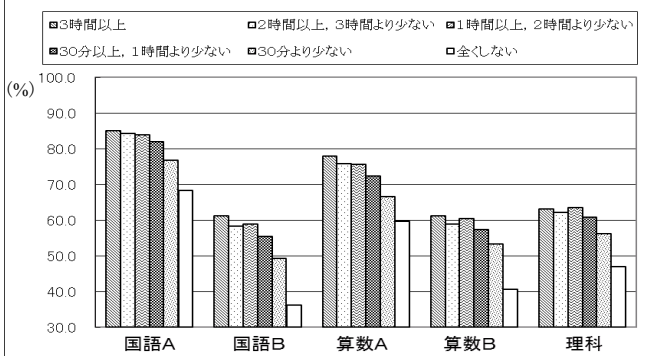
中学校3年生



平日に授業以外に1時間以上学習すると回答した本県の児童生徒の割合は、全国に比べて低い傾向にあります。子どもたちは学習以外にもさまざまな活動を行っており、一概に学習時間が「長い」「短い」ということは言えないかもしれませんが、授業以外「全く勉強しない」と答えた子どもたちも少なからずいます。

また、右のグラフは、授業以外の勉強時間と各教科の平均正答率との関係を示したものです。「1時間より少ない」「30分より少ない」「全くしない」と勉強時間が短くなるにつれ、平均正答率も段々と低くなっていることがよく分かります。

【小学校】(14) 授業時間以外に普段、一日どれくらい勉強をしますか



子どもたちの「生きる力」を支える「確かな学力」の育成をめざして



現在、県内の各小・中学校では、子どもたちの「確かな学力」の育成に向けて、学力の定着状況のきめ細かな確認や、活用する力の育成をめざした授業改善のための研修など、さまざまな取組を進めています。

しかし、学校での授業だけではなく、子どもたちが主体的に学習する姿勢を身に付けることは、「学力」の向上に欠かすことができません。ぜひ、ご家庭でも今回の調査結果などを話題にいただき、学校と家庭が一体となって子どもたちの「確かな学力」を育成していきましょう。

今回、お示したような山口県全体の調査結果を、県教育庁義務教育課のホームページに掲載しております。

<http://www.pref.yamaguchi.lg.jp/cms/a50900/index/>

また、このホームページから、ご家庭でも活用できる「やまぐち学習支援プログラム」もご覧になれます。ぜひ、ご利用ください。